

令和3年度 学校評価アンケート(後期集計結果)

富里市立浩養小学校  
校長 岩崎 元

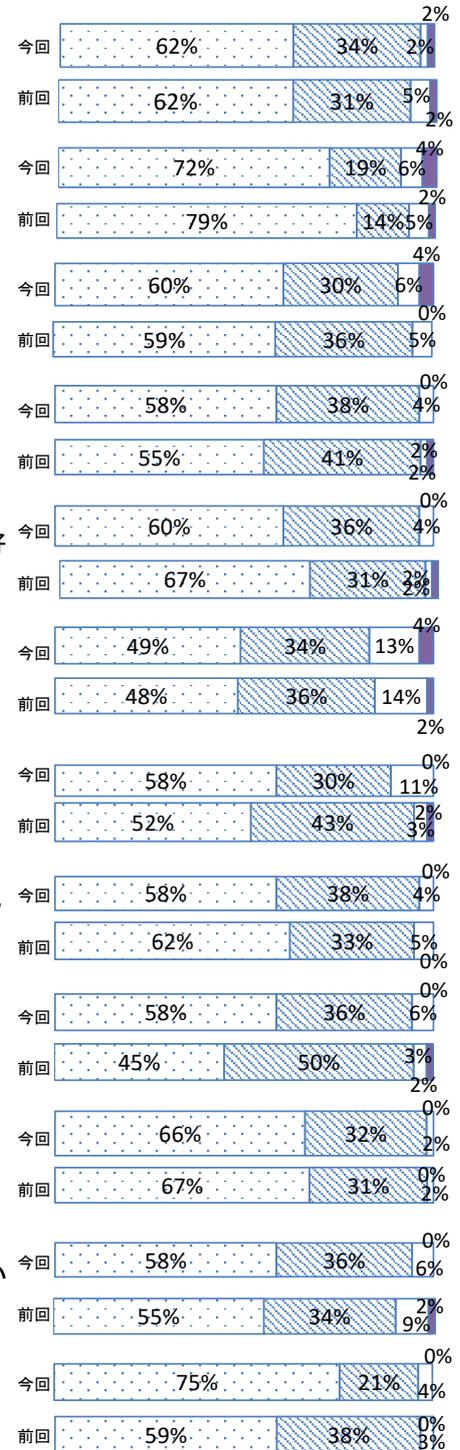
令和4年2月に実施いたしました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。また、学校としての自己評価(裏面)を行いました。これらの結果を基に、学校評議員の意見等を踏まえつつ、学校教育の一層の充実に努めてまいります。御協力ありがとうございました。

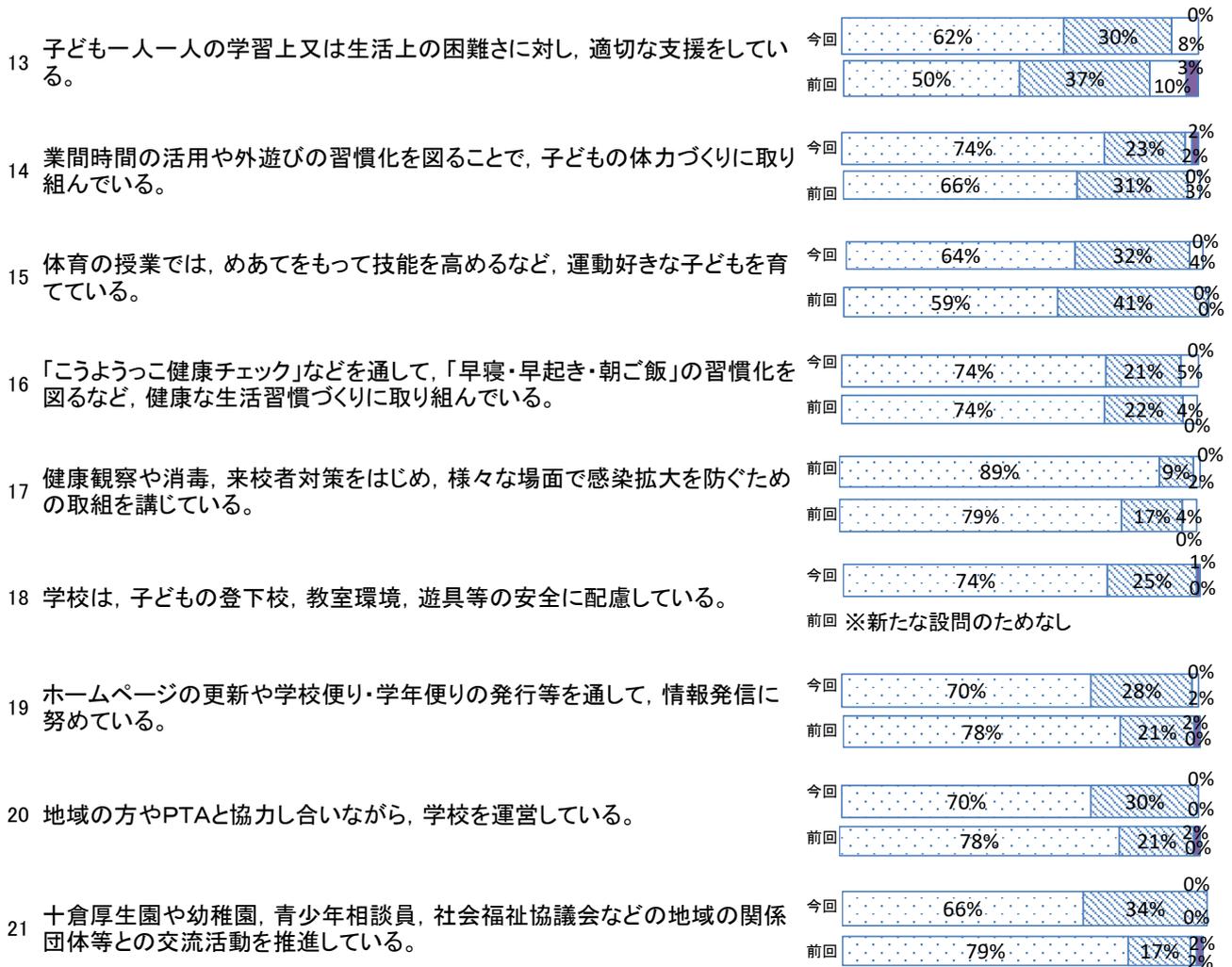
【表示の仕方と回答数等】  
上段=令和3年度後期保護者(回答数 53人)  
下段=令和3年度前期保護者(回答数 58人)  
※今年度から、家庭数を調査対象としております。

令和4年2月実施			
そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない

【児童に関する項目】

- 教育方針や教育目標をわかりやすく伝えている。
- 挨拶いっぱい、花いっぱい、笑顔いっぱいの学校づくりに取り組んでいる。
- つまずきに対してきめ細かく指導したり、とみの国検定(2年~6年)の全員合格に向けた支援を行ったりするなど、基礎・基本の習得に力を入れている。
- 友達の考えを大切にしながら自分の考えを表現できる授業を行っている。
- 課題意識をもって学ぶ子ども、ブックトリップや読み聞かせなどを通して本好きな子どもを育てようとしている。
- 子どもが家庭学習(学年×10分)を習慣化できるように指導している。
- 子ども同士がお互いのよさを認め合う授業を行っている。
- 大画面モニターや実物投影機を活用した授業を行ったり、一人一台タブレット端末を積極的に活用できる子どもを育てようとしていたりしている。
- 道徳の授業などを通して、子どもが自らきまりを尊重する態度を育てている。
- 学校行事などを通して、誰とでも協力できる人間関係づくりに取り組んでいる。
- 子どもの様々な問題について、いろいろな職員に相談できる体制になっている。
- だまって掃除をするなど、学校を進んできれいにしようとする態度を育てている。





【自由記述欄から】—保護者アンケートから抜粋—

自由記述欄についてお書きいただいたことにつきまして、「⇒」の後に、学校からのコメントを添えております。紙面の都合上、また個人が特定されないような配慮から、一部を抜粋して掲載していることをご容赦ください。

○朝、子どもを校門まで送り、駐車場まで戻る間、すれ違う子が必ずとっていい程無言です。こちらから挨拶しても、無言で頭を下げれば良い方で、ほとんど無視。地域の人にも、進んで挨拶する、せめて挨拶されたら返す指導をお願いします。

○この学校の子供たちは、挨拶が全くできない子ばかりだと思います。何年か前の子供たちは、すごく挨拶ができていて気持ちがよかったです。残念です。

○子どもが先生に挨拶しても返してくれない先生方が多いみたいです。先生方が手本となるべきだと思います。大変だとは思いますが、少しでも気をつけていただけたらありがたいです。

⇒挨拶は、相手を明るい気持ちにさせたり勇気づけたりします。子供たちはマスクを付けて登下校している関係で、お互いに口の動きや表情が見えず、声が聞きづらくなったこともあるかもしれませんが、学校では、挨拶のよさを実感できるよう、全校集会や学級での指導に加え、登校する時、校内ですれ違う時、職員室等に入室する時など、様々な場面で挨拶ができるよう継続して指導してまいります。挨拶が習慣化されるためには、保護者の協力も必要です。引き続き、ご協力よろしくをお願いします。

○出庫する車と入庫する車が校門の前で交差しますが、誘導は大変だと思いますので、何か良いやり方はありませんか？歩行者にとっても危ないです。

⇒送迎で児童が車の乗り降りをする際は、児童の安全を第一に考え、児童が車道を歩かず、かつ正門付近の車の混雑から来る事故に巻き込まないよう、右側通行・反時計回りをお願いしております。運転手の方には、出庫する車と入庫する車が交差することによってご不便をおかけしますが、右側通行・反時計回りとしている趣旨をご理解いただくとともに、ご協力をお願いします。なお、自家用車による登下校時の送迎については、学校の管理下とはみなされないため、日本スポーツ振興センター保障対象にはなりません。ご承知おきください。

○学校の行事について（以下は「6年生を送る会」や卒業式等についてです。）

参観を中止にするのではなく、工夫して保護者に公開していただくことはできないでしょうか。（例えば、保護者は教室や自宅からリモート参観とか）

大規模校でも、コロナ禍2年目では、工夫して行事をしていると聞きます。浩養小なら、なおさら可能なのではないのでしょうか。

○コロナウィルス感染拡大防止の観点からイベントが中止になっていますが、6年生を送る会などは画配信してほしいです。DVDやBlu-rayなどで購入できるかたちでもいいので。

⇒小規模の学校では、学校行事の際に動画撮影や編集するための人員が確保できず、撮影機器等も不十分な状態ではございますが、今年度の6年生を送る会は、YouTubeのライブ配信で視聴できるようにいたしました。ご利用ください。学校規模に関わらず、全校児童が同一空間を長時間共有するような活動は、なるべく避けるよう配慮することが大切であると考えます。

○体調不良による欠席について

兄弟がどちらかが発熱等があった場合、その兄弟は症状がなくても欠席という取り決めは現在なくなったのでしょうか。（兄弟どちらか休んでいても、その兄弟は出席しているということを知るので。）

⇒現在も、児童に発熱等の風邪症状がある場合は、その兄弟・姉妹についても登校を控えていただくようお願いしております。なお、児童に発熱等の風邪症状がなく欠席する場合については、その兄弟・姉妹の登校は可能です。

○子どもたちの話を聞いてくれる先生方もあまりいないようで、昔と比べてさみしく思うようです。

⇒コロナ禍ということもあり、「三密の回避」や対面での会話、給食時の黙食など、学校生活においては多くの制限が加えられ、いわゆる日常の雑談の機会が減っているのは事実です。そのため、教師と児童の1対1の教育相談の設定をはじめ、教育相談箱（担任、養護教諭、教頭等が対応）、教育相談員、スクールカウンセラーなど、子どもたちの話を聞ける体制を整えることに努めているところです。気軽にご利用ください。

○制限がある中でも、行事や日々の授業を楽しくして下さりありがとうございます。

○子どもにも保護者にも困った時には素早く対応していただきありがとうございます。早くコロナが収束し、以前の様な温かく風通しの良い浩養小に戻ることを願っています。

○いつも親身になって下さり、子どもが安心して学べる環境をつくって下さり感謝しております。朝、校長先生が立ってくださっていて安心致します。

○今の学年での学校生活も残りが少なくなりました。担任の先生にもいろいろご面倒をおかけしたと思いますが、ありがとうございました。次の学年になるにあたり、彼ら彼女たちに足りなかった部分を学んでもらえるように希望しますのでよろしくお願い致します。

⇒学校として、ありがたく受け止めさせていただきます。また、教職員の励みになります。これからも、職員一同、一人一人に寄り添った指導の向上を目指してまいります。

令和3年度 後期学校評価(自己評価)

1 学校教育目標

心豊かな人づくりをめざして～知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成～

2 本年度の重点目標

- 1 「めざす学校像」を教職員・児童ともに高く意識し、その実現を目指す。
- 2 「地域に根ざした小規模校」としての強みを生かす。
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善を推進する。

3 自己評価結果 (「割合」の欄は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的な回答の割合)

【取組状況の目安】 90%以上:A 80～90%未満:B 70～80%未満:C 70%未満:D

分野・領域	設問	関連する調査項目	割合	取組状況	改善の方策
全般	1	教育方針や教育目標をわかりやすく伝えている。	96%	A	設問1については肯定的な回答の割合が前期よりも高まりましたが、設問2については若干下回りました。挨拶については、登校時はもちろん、様々な場面で挨拶の習慣化に向けて取り組んでいます。ご家庭でもご協力をお願いします。
	2	挨拶いっぱい、花いっぱい、笑顔いっぱいの学校づくりに取り組んでいる。	91%	A	
確かな学力	3	つまずきに対してきめ細かく指導したり、とみの国検定(2年～6年)の全員合格に向けた支援を行ったりするなど、基礎・基本の習得に力を入れている。	91%	A	設問3については、前期の回答の割合よりも若干下回りました。後期は、きめ細かな指導できるよう、算数科の学習(3年生)では少人数指導を取り入れました。今後は、全校で視写や暗唱、百マス計算も取り入れて、基礎・基本の習得を行っていきます。
	4	友達の考えを大切にしながら自分の考えを表現できる授業を行っている。	96%	A	設問6については、前期とほぼ同じでした。後期は、家庭学習カードを活用して、家庭での学習時間を意識化できるように取り組みました。今後も引き続き家庭学習の習慣化に取り組んでいます。
	5	課題意識をもって学ぶ子ども、ブックトリップや読み聞かせなどを通して本好きな子どもを育てようとしている。	96%	A	
	6	子どもが家庭学習(学年×10分)を習慣化できるように指導している。	83%	B	
	7	子ども同士がお互いのよさを認め合う授業を行っている。	89%	B	
	8	大画面モニターや実物投影機を活用した授業を行ったり、一人一台タブレット端末を積極的に活用できる子どもを育てようとしていたりしている。	96%	A	設問7については、前期より下回りました。児童同士がお互いの変化を認め合える指導法の改善に努めています。
	9	道徳の授業などを通して、子どもが自らきまりを尊重する態度を育てている。	94%	A	設問11と設問13については、前期の回答の割合よりも上回りました。学年便りで教育相談員やスクールカウンセラーの来校日をお知らせしたところ、ご活用いただいたケースもありました。また、アンケートや教育相談員やスクールカウンセラーが実施した3年生以上の全員面談からは、多くの声を聞き取ることができました。今後も各種アンケート調査等をもとに教育相談の充実を図り、いじめの未然防止や早期発見・解決に努めています。
	10	学校行事などを通して、誰とでも協力できる人間関係づくりに取り組んでいる。	98%	A	
豊かな心	11	子どもの様々な問題について、いろいろな職員に相談できる体制になっている。	94%	A	
	12	だまって掃除をするなど、学校を進んできれいにしようとする態度を育てている。	96%	A	
	13	子ども一人一人の学習上又は生活上の困難さに対し、適切な支援をしている。	92%	A	
	14	業間時間の活用や外遊びの習慣化を図ることで、子どもの体力づくりに取り組んでいる。	96%	A	設問15と16については、高い評価をいただいておりますが、前期の回答の割合よりも、若干下回りました。「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化に向けて、「こうようっこ健康チャック」が形骸化することのないよう取り組んでいきます。ご家庭でも、ご協力をお願いします。設問17については、前回よりも若干上回りました。引き続き、健康観察や消毒等の感染拡大防止策を講じていきます。
	15	体育の授業では、めあてをもって技能を高めるなど、運動好きな子どもを育てている。	96%	A	
健やかな体	16	「こうようっこ健康チェック」などを通して、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化を図るなど、健康な生活習慣づくりに取り組んでいる。	94%	A	
	17	健康観察や消毒、来校者対策をはじめ、様々な場面で感染拡大を防ぐための取組を講じている。	98%	A	
	18	学校は、子どもの登下校、教室環境、遊具等の安全に配慮している。	98%	A	設問18は、今回新たに設けたところ、高い評価をいただきました。今後も、日々の観察や安全点検を通して危険を早期発見・早期対応に努めています。
歩地域ととも校に	19	ホームページの更新や学校便り・学年便りの発行等を通して、情報発信に努めている。	98%	A	設問20・21については、100%の評価をいただきました。来年度は、富里市の全小中学校に学校運営協議会が設置され、学校・家庭・地域の連携がさらに求められます。保護者や地域の方の声に耳を傾け、一層連携した取組を行います。
	20	地域の方やPTAと協力し合いながら、学校を運営している。	100%	A	
	21	十倉厚生園や幼稚園、青少年相談員、社会福祉協議会などの地域の関係団体等との交流活動を推進している。	100%	A	

4 アンケート結果の総括

今回は安心・安全な学校に関する設問を1つ増やしましたが、保護者アンケートにおける肯定的な評価が9割を上回りました。一方で、「確かな学力」については、肯定的評価が9割に満たないものが6項目中2項目ありました。令和4年の2月から全学年にタブレット端末が配付されましたが、今後はタブレット端末も活用しながら、効果的な指導法について模索してまいります。